

**PL/SQL プログラミングⅡ ～研修受講前テスト 解答～****■問題1【コンポジット型】**

PL/SQL プログラムで使用できるデータ型について、正しいものを1つ選んでください。

- %TYPE属性を使用すると、表の複数列のデータを代入できる変数を定義できる。
- %ROWTYPE属性を使用すると、データ型を1つずつ指定して、複数の値を代入できる変数を定義できる。
- RECORD型で定義された変数には、複数行のデータを代入することができる。
- TABLE型を使用すると、複数の値を一括して処理することができる。
- 分からない

<テキスト掲載箇所>1章

**■問題2【システム固有の動的SQL】**

動的SQL文に関する記述について、正しいものを1つ選んでください。

- プログラムを作成するときは、なるべく動的SQL文を使った方がよい。
- 動的SQL文でDDLを使用することはできない。
- 動的SQL文を含んだプログラムは、コンパイルされた状態でデータベースに格納される。
- 動的SQL文を使用すると、アクセスする表や列をSQL実行時に指定できる。
- 分からない

<テキスト掲載箇所>3-1 ～ 3-6

**■問題3【システム固有の動的SQL】**

動的SQL文を使用した際にSQLの解析結果を共有するための記述について、正しいものを1つ選んでください。

- バインド引数には、INモード、OUTモード、RETURNING INTOモードの3つのモードがある。
- バインド引数はUSING句を使って指定する。
- プレースホルダを使うと、表名や列名を未定にしたSQL文の解析結果も共有できる。
- プレースホルダとバインド引数は、宣言部で定義することで利用可能である。
- 分からない

<テキスト掲載箇所>3-7 ～ 3-14

**■問題4【カーソル変数】**

カーソル変数を使った処理について、正しいものを1つ選択してください。

- カーソル変数には、複数の値を一括して代入できる。
- カーソル変数には、複数の結果セットの値を代入することができる。
- カーソル変数には、複数行のデータを動的に対応付けることができる。
- カーソル変数には、静的SQL文に対応付けることはできない。
- 分からない

<テキスト掲載箇所>4章

**■問題5【ユーザー定義パッケージ】**

以下の中から、パッケージに含められないものを1つ選んでください。

- トリガー
- 変数
- 例外
- データ型
- 分からない

<テキスト掲載箇所>5-1

**■問題6【ユーザー定義パッケージ】**

パッケージの利点について、誤っているものを1つ選んでください。

- パッケージの本体が未作成であっても、そのパッケージを呼び出すプログラムをコンパイルできる。
- 関連するプログラムをパッケージ単位でまとめて共有メモリー上にロードできる。
- パッケージ内に、非公開のオブジェクトを定義することができる。
- パッケージの仕様部を再コンパイルしても、他のプログラムには影響を及ぼさない。
- 分からない

<テキスト掲載箇所>5-5 ~ 5-8

**■問題7【ユーザー定義パッケージ】**

オーバーロードの特徴について、正しいものを1つ選んでください。

- セッションを切断するまで変数に値を保持する。
- プログラムの実行時にアクセスする表や列を指定する。
- ロードしたプログラムの情報をメモリー上に固定する。
- 仮パラメータが異なるプログラムを同一名で複数作成できる。
- 分からない

<テキスト掲載箇所>5-13

**■問題8【ユーティリティ・パッケージ】**

ユーティリティ・パッケージの説明について正しいものを1つ選択してください。

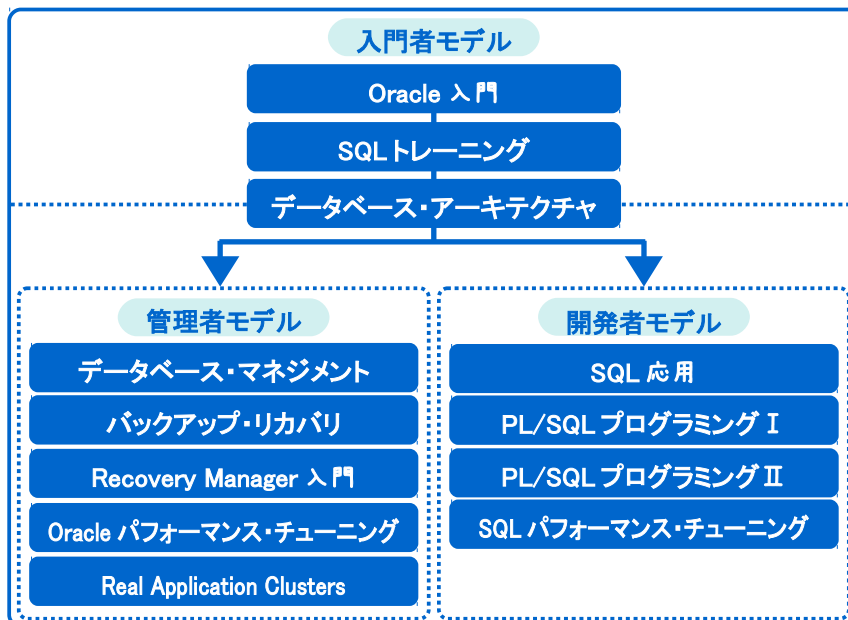
- ユーティリティ・パッケージとは、Oracleの標準ツールで使用するためのパッケージのことである。
- ユーティリティ・パッケージの所有者はパッケージの実行ユーザーである。
- ユーティリティ・パッケージは定義者権限で実行される。
- ユーティリティ・パッケージは、catproc.sqlスクリプトを実行するとインストールされる。
- 分からない

<テキスト掲載箇所>6-1 ~ 6-2

**I**nformation

アシスト Oracle 研修内容の詳細については下記ページをご覧ください。  
<http://www.ashisuto.co.jp/ojt/course/oracle/>

**ア**シストOracle研修受講モデル



**<入門者モデル>**

Oracleの基本構造やSQLの基礎構文など、Oracleの全体像を理解できます。新入社員や異動された方など、これからOracleに携わる方にぴったりのモデルです。

**<管理者モデル>**

管理者として必要な運用管理タスクの理解やバックアップリカバリ、システムチューニングの技術を習得できます。

**<開発者モデル>**

Oracleを使用した開発に必要なPL/SQLの習得、索引やSQL記述方法などによるSQLチューニング技術を習得できます。

※研修内容についてご質問がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

アシスト教育部：【TEL】0120-874-337 / 【FAX】0120-874-437/ 【E-Mail】[edusup\\_ora@ashisuto.co.jp](mailto:edusup_ora@ashisuto.co.jp)